

医学研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	アルコール性肝障害と非アルコール性脂肪性肝疾患に対するアセトアルデヒド由来AGEsとグリセルアルデヒド由来AGEsに関する検討
研究機関名	金沢医科大学
研究責任者	金沢医科大学 肝胆膵内科学 助教 福村 敦
研究期間	倫理審査委員会承認後 ~ 2023年 12月 31日
対象者	<p>2000年1月～2021年12月の間に当院を受診され、以下の、のいずれかを満たす患者さん。</p> <p>アルコール性肝障害(alcoholic liver disease: ALD)群 30例：1日の飲酒量が日本酒換算で3合以上の方で肝生検にてアルコール性肝障害(アルコール性脂肪肝、アルコール性肝線維症、アルコール性肝炎、アルコール性肝硬変、アルコール性肝癌)と診断された患者さん。ならびにおなかの超音波やCT検査などでアルコール性肝障害(とくにアルコール性肝硬変、アルコール性肝癌)と診断された患者さん。</p> <p>非アルコール性脂肪性肝疾患(non-alcoholic fatty liver disease: NAFLD)群 30例：1日飲酒量が日本酒換算1合未満でかつ肝生検もしくは腹部超音波(またはCT検査)にて脂肪肝ならびにNASH(非アルコール性脂肪肝炎、ナッシュといいます)と診断された患者さん。</p> <p>コントロール群 20例：当科を受診し、飲酒をしておらずかつ脂肪肝の所見がない患者さん。</p>
当該研究の意義・目的	<p>【背景】生体内では色々な経路から種々のタンパク質糖化産物(AGEs: エージーイーといいます)が生成されますが、なかでもグリセルアルデヒド(GA)という糖由来のAGEs(GA-AGEs)は、非アルコール性脂肪性肝疾患(non-alcoholic fatty liver disease: NAFLD)の発症・進展に関与していることが、研究協力者の竹内により報告されています。NAFLDは、非アルコール性脂肪肝(non-alcoholic fatty liver: NAFL)と非アルコール性脂肪肝炎(non-alcoholic steatohepatitis: NASH)からなりますが、近年、NAFLとNASHとの違いは、肝線維化のスピードが遅いだけであると欧米では考えられてきています。</p> <p>一方、アルコールは肝臓で代謝されますが、その最初の代謝産物であるアセトアルデヒド(AA)は、肝細胞毒性作用、 膠原線維産生細胞(肝星細胞)刺激作用により、アルコール性肝障害(alcoholic liver disease: ALD)の進行に関与しています。われわれは、AAの終末糖化産物(AA-AGEs)に着目し、ラットモデルでの検討を行い、報告しました。</p> <p>ヒトでは、過剰飲酒によりほぼ全例が脂肪肝になりますが、その後飲酒を続けても約15%しか肝硬変に至りません。アルコールを空腹時に飲むと胃から小腸への移行が速くなり、AAが蓄積しやすく、酒のつまみはアルコールの吸収速度を低下させる点では良いですが、アルコールに含有されている糖質および、つまみの摂取によりGAが増加し、NAFLDで証明されているGA-AGEsによる肝障害がさらに発症する可能性があります。NASHは、顕微鏡上はアルコール性肝炎に似ていますが、アルコール性肝炎の発症母体となる肝臓は、脂肪肝・肝線維症・肝硬変と多彩です。今回、アルコール性肝炎とNASHで、AA-AGEsとGA-AGEsの免疫組織化学染色を行い、その違いを検討したいと考えました。</p> <p>【目的】GA-AGEsがALDの病態に促進的に働くか否か、各病型のALD患者ならびにNAFLD患</p>

	<p>者さんの血液と肝組織を用い、炎症、線維化、酸化ストレスの面から明らかにすることを目的とします。</p>
<p>方法および研究で利用する試料・情報について</p>	<p>上記、対象期間中に肝生検で診断したALD患者さんの飲酒歴と検査データを、電子カルテ等の診療録から、後ろ向きに調査し、保存血清でAA-AGEsとGA-AGEsなどを追加測定します。また、ALDの各病型とNAFLD症例で、AA-AGEsとGA-AGEsの免疫組織化学染色を行います。【収集する情報】年齢、性別、疾患名、1日飲酒量、積算飲酒量、BMI、HbA1c、AST、ALT、GGT、中性脂肪など</p> <p>* 本研究データを将来別の研究に使用させていただきたいと思っております。実施に当たっては金沢医科大学医学研究倫理審査委員会の審議を経て実施します。</p> <p>本研究への参加を望まれない方は、下記の問い合わせ先までご連絡を頂けますようお願い致します。なお、資料情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益になることはありません。</p>
<p>外部への資料・情報の提供</p>	<p>他施設へは提供しません。</p>
<p>個人情報の開示に係る手続き</p>	<p>個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。</p>
<p>資料の閲覧について</p>	<p>あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。</p> <p>金沢医科大学 肝胆膵内科学 助教 福村 敦 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線（5453）</p>

作成日： 2017年12月27日

改訂日： 2020年4月24日

改訂日： 2022年1月5日